

フラワーセンターニュース

世界初交配のウツボカズラを展示

このたび、世界で初めての組み合わせによるウツボカズラ（ネペンテス）の新品種作出、栽培に成功しましたのでお知らせします。

ウツボカズラは、熱帯アジアを中心に自生する食虫植物です。多くの交配種がありますが、栽培が難しいとされる種類の親木を使用し、原種同士の交配をしました。フタの形状が桃の形に似ており、正面から見ると傘をさしているような形状に見えることから、‘ももがさ’と命名しました。

葉・捕虫袋ともに黄緑色のタイプと全体的に赤味を帯びるタイプを展示しています。

- | | |
|-------------|---|
| 1 交配年月日 | 平成 22 年 5 月 10 日 |
| 2 交配に使用した原種 | ※ ネペンテス ペルビレイ♀ セイシェル原産
ネペンテス カーシアナ♂ インド アッサム地方原産 |
| 3 展示場所 | 大温室内ラン室 |
| 4 展示期間 | 平成 30 年 6 月中旬 |

※ 世界的に本種の実生繁殖に成功しているのは
フラワーセンターだけです。



‘ももがさ’

花づくり事業課 土居寛文